

令和2年度 第1回国有林モニターアンケート調査結果

1. 目的

本調査は、国有林モニターの方を対象に、国有林に関する関心、意見、要望を伺い、国有林野の管理経営やモニター活動の参考にすることを目的とする。

2. 調査期間

令和2年5月15日～令和2年6月1日

3. 調査対象

九州森林管理局の全国有林モニター64名

4. 調査方法

郵送回収、もしくは九州森林管理局ホームページの回答フォームによる

5. アンケート回答者数

55名（回答率86%）

※年齢別内訳

年代	人数	比率 (%)
20代	1	2
30代	5	9
40代	10	18
50代	15	27
60代	24	44
計	55	100

※県別内訳

県	人数	比率 (%)
福岡県	19	35
佐賀県	9	16
長崎県	4	7
熊本県	8	15
大分県	6	11
宮崎県	2	4
鹿児島県	5	9
沖縄県	2	4
計	55	100

6. アンケート結果の概要

① 森林の利用状況について

森林の利用状況（問Ⅰ-3）については、2～3年以内の間に九州の森林に足を運んでいる方が71%と多く、目的は、「景観や風景を楽しむため」が27人、「森林浴」が22人と高い値となっている一方、「キャンプやピクニック」、「釣りや山菜採り」、「登山やスキー」などは比較的低い値となった。

② 森林に対してのイメージ及び森林管理局等が行っている仕事のイメージについて

森林に対してのイメージ（問Ⅰ-4）で、最も多く選ばれたのが「⑧水源を守り、水を蓄える」、次いで「③心身の癒やしや安らぎの場」であった。森林管理局等の国有林の組織（以下、「局等」という）が行っている仕事のイメージ（問Ⅱ-2）では、最も多く選ばれたのは、森林に対してのイメージと同様に「⑧水源を守り、水を蓄えるため森林を保全しているところ」と水源涵養に関する項目であった一方、「③森林浴や自然観察、野外スポーツを楽しむ森林

を提供しているところ」と森林浴など森林を癒やしや安らぎの場として提供しているイメージは低い値となった。また、国有林に期待することと（問Ⅰ－7）して、「国有林の存在をアピールして、気軽に安全に森林浴や癒しを体験できるように施設などの整備をしてもらいたい」、「誰でも気軽に国有林に立ち入り、親しめる施策」という意見があった。

③ 国有林の組織の認知及びイベント参加について

国有林モニターになる以前からの局等の組織の認知（問Ⅱ－1）については、82%と高い割合となったが、局等へ行ったことがある、局等が行っているイベントに参加したことがあるという方は、低い割合となっており、「もっと森林に関わるイベントがあるといい」という意見があった。

④ 令和2年度九州森林管理局の重点取組事項の関心事項について

令和2年度九州森林管理局の重点取組事項（問Ⅲ）の関心のある項目で、特に興味深かったものとして選択された項目は、「③深刻化するシカ被害への対応」次いで「⑤優れた自然環境の保全と森林景観を活かした観光資源の創出」となっており、「⑤優れた自然環境の保全と森林景観を活かした観光資源の創出」を選択した理由は、「国有林の活用方法として、これから伸びることが期待できそうな分野」や「自然を活かした観光開発は、自然との共存として大切なことであると感じた」などという意見があった一方で、「レクリエーションの森を地元の方が知らないくらいだから、知名度不足が顕著であると思う」といった意見があった。

⑤ まとめ

比較的多くの方が、景観や森林浴を楽しむなど、心身の癒やしや安らぎの場として森林が利用されており、令和2年度の九州森林管理局重点取組事項の関心事項からも、レクリエーションの森に対して関心が高いことが伺える一方、国有林が森林浴や自然観察、野外スポーツを楽しめる場を提供しているというイメージは低いことが分かった。

このようなことから、国有林モニター会議（現地視察）や国有林が行うイベントに当たっては、レクリエーションの森を活用するほか、シカ被害にも関心が高いことから、これらに関連したテーマとすることで、ニーズに合った企画ができるとともにイベントへの参加率の向上につながるのではないかと考える。

7. 別添資料

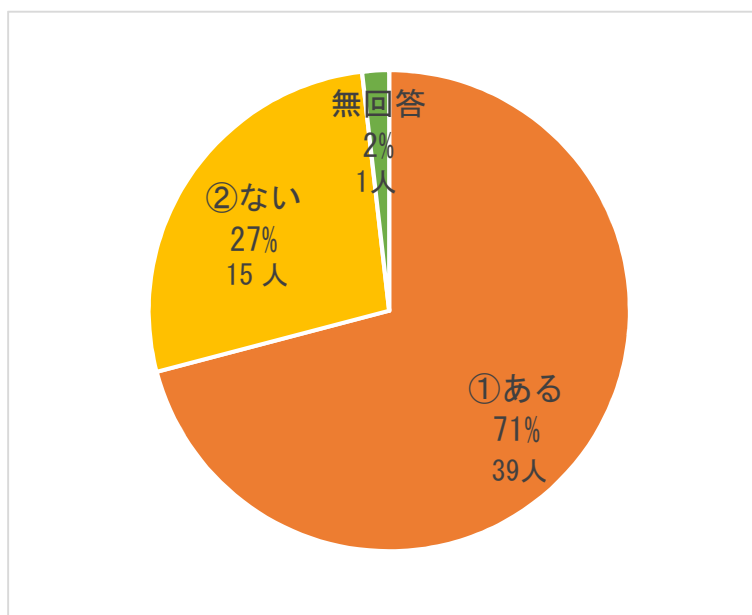
アンケート集計結果

令和2年度 第1回国有林モニターアンケート集計結果

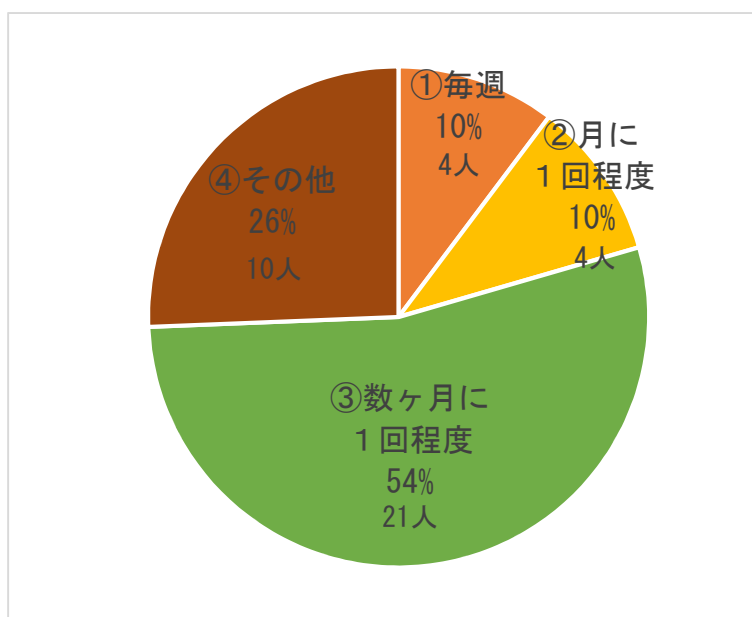
※いただいた回答は、個人情報がかかるものや明らかな誤字脱字を除いて、原文のまま記載しております。また、自由回答については、主な意見や理由を掲載させていただいております。

I 九州の森林について

問I-1 あなたは、この2～3年の間に、九州の森林に足を運ばれたことはありますか。



問I-2 (問I-1で①と答えた方にお聞きします) どのくらいの頻度で足を運ばれますか。

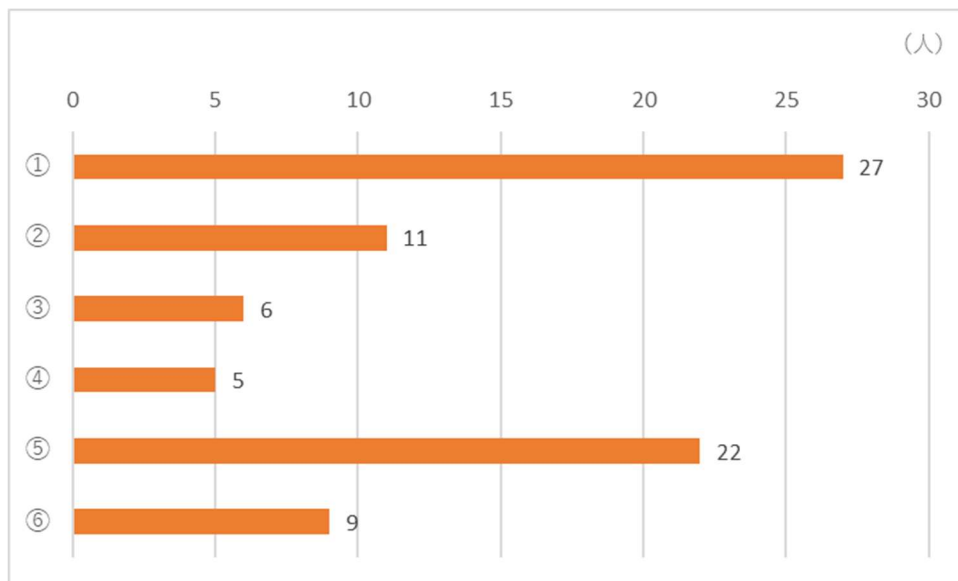


その他（主な意見）

- ・ 毎日
- ・ 月に、2～3回程度
- ・ 年に数回
- ・ 数年に1回程度

問 I-3 （問 I-1 で①と答えた方にお聞きします）どのような目的で行かれましたか。（最大3つまで回答可）

- ① 景観や風景を楽しむため
- ② キャンプやピクニック
- ③ 釣りや山菜採り
- ④ 登山やスキー
- ⑤ 森林浴
- ⑥ その他

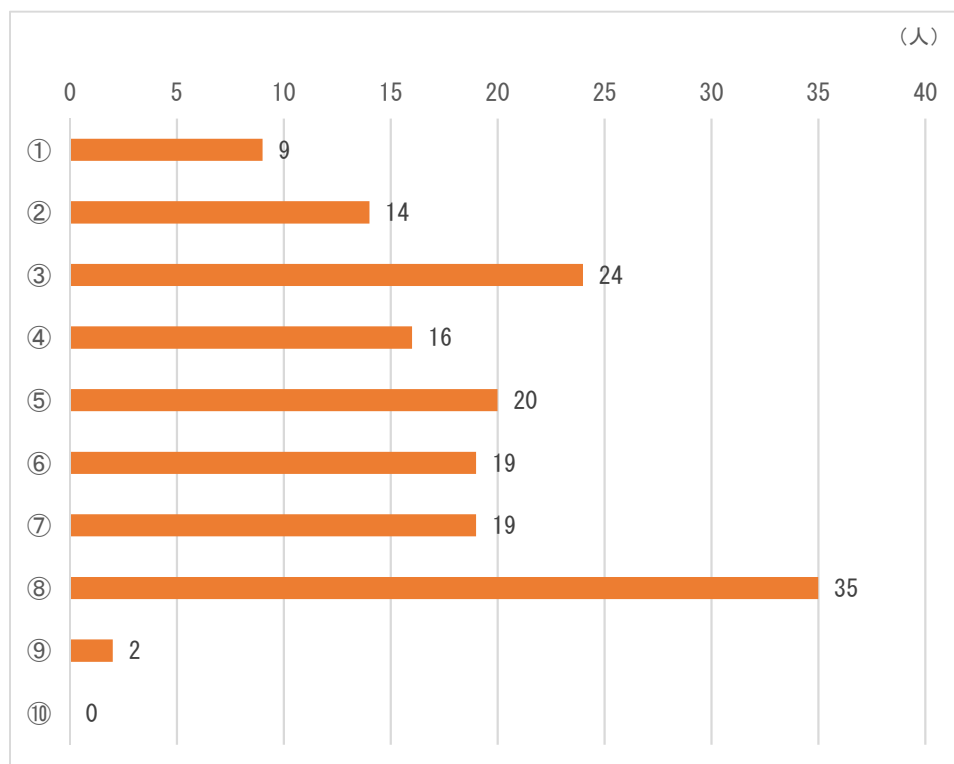


その他（主な意見）

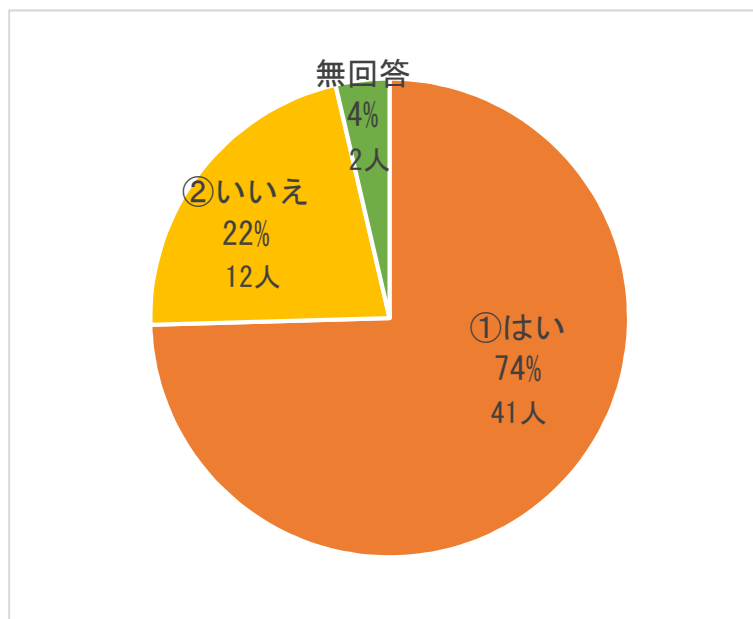
- ・ 木や地形、又植物観察
- ・ 生活の為
- ・ 仕事で、杉の穂を取りに行きました
- ・ 森林保全のボランティア活動
- ・ 有害鳥獣駆除、養蜂

問 I - 4 あなたは九州の森林に対してどのようなイメージがありますか。（最大3つまで回答可）

- ① 木材やきのこ、山菜等を供給する
- ② 自然と人とのかかわりを学ぶ教育の場
- ③ 心身の癒やしや安らぎの場
- ④ 空気を浄化し、騒音を緩和する
- ⑤ 貴重な野生動植物の生息の場
- ⑥ 二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に寄与する
- ⑦ 山崩れや洪水等の災害を防止する
- ⑧ 水源を守り、水を蓄える
- ⑨ その他
- ⑩ 特にない



問 I-5 九州の森林には「国有林」と「民有林」の区分があることをご存じですか。



問 I-6 (問 I-5 で①と答えた方にお聞きします) ご存じだった理由についてご記入ください。

(主な理由)

- ・ かつて、授業で習いました
- ・ 国有林の表示を山中で見かけたことがあるから
- ・ テレビや新聞で目にした
- ・ かつて農林業に携わっており、身近に国有林があったから

問 I-7 「国有林」として国が森林を管理経営することについて、あなたはどのようなことを期待されますか。

(主な意見)

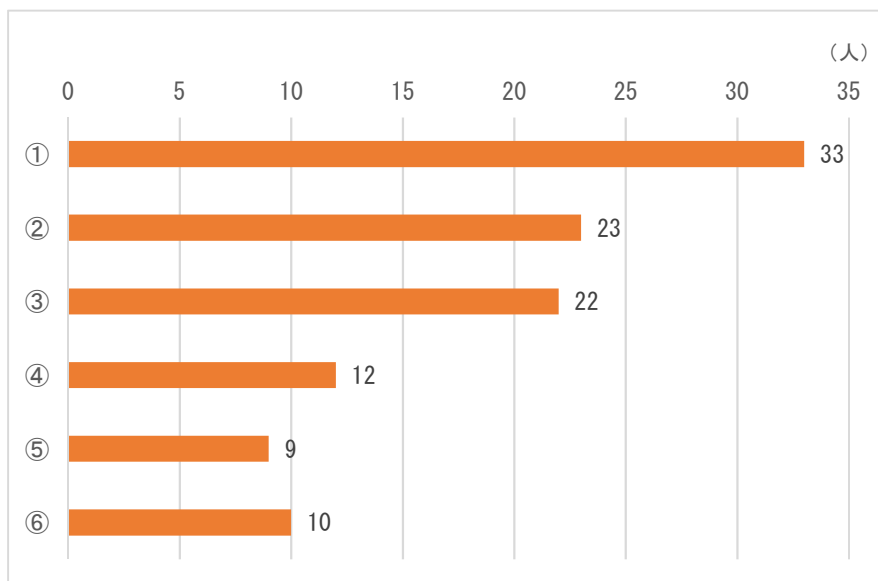
- ・ 近年、自然災害が頻発しているので土砂災害の防止と軽減を期待しています。
- ・ 祖母山の遊歩道みたいな森林に親しむことができる環境を整備して欲しい。
- ・ 海外から木材が入ってくことで国産材の消費は減り、単価も安くなっていったと話を聞いたことがある。(具体的な年代等については不明)。外材に負けない国産材を生み出して、昔のように林業が活発になって欲しいと思う。
- ・ 国有林の有効利用。
- ・ もっと国有林の存在をアピールして、気軽に安全に森林浴や癒しを体験できる様に施設などの整備をしてもらいたい。
- ・ 人々の身近に有るにも関わらず 若干距離が有るように思えるのでもっと積極的に民間に利用してもらおう努力が必要では無いかと思います。

- ・ 誰でも気軽に国有林に立ち入り、親しめる施策。
- ・ 適切に管理し、森林技術を次世代に繋げてほしい。
- ・ 自然環境の保全や林業の活性化。

II 九州森林管理局について

問II-1 九州の国有林を管理している九州森林管理局には次の組織がありますが、あなたがモニターになれる前からご存じの組織をお選びください。（複数回答可）

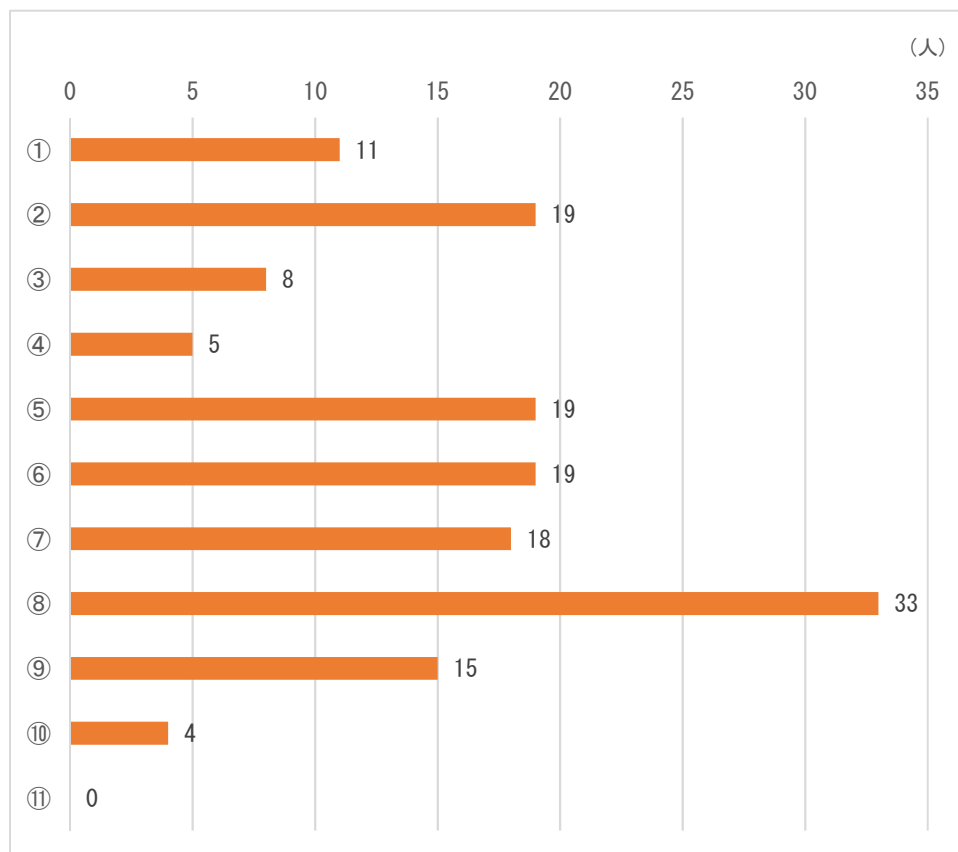
- ① 九州森林管理局
- ② 森林管理署、支署（九州各地に17カ所）
- ③ 各森林事務所、治山事業所（九州各地に136カ所）
- ④ 屋久島、西表にある森林生態系保全センター
- ⑤ 森林技術・支援センター
- ⑥ どの組織も知らなかった



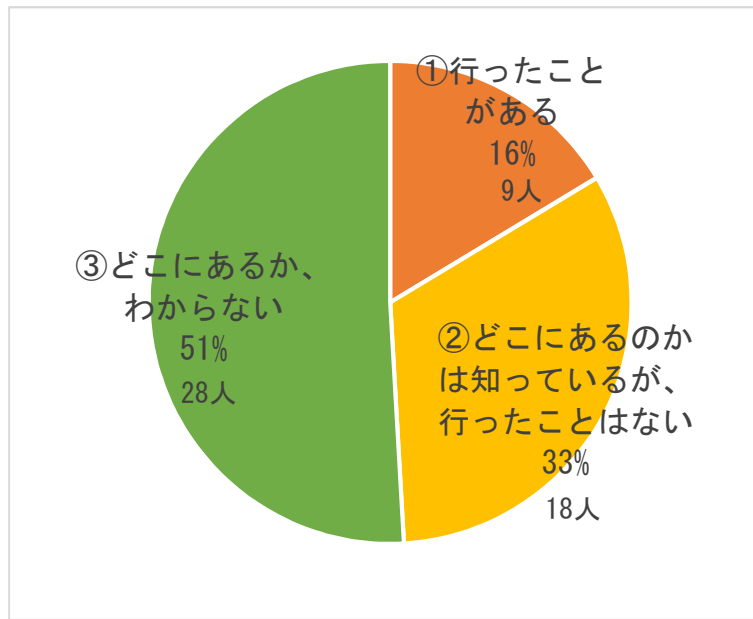
問II-2 九州の国有林で九州森林管理局、森林管理署等が行っている仕事のイメージをお選びください。（最大3つまで回答可）

- ① 立木を伐採し、木材として販売するところ
- ② 森林を活用した学習や環境教育を行っているところ
- ③ 森林浴や自然観察、野外スポーツを楽しめる森林を提供しているところ
- ④ 大気の浄化や騒音の緩和のために、都市近郊にある森林を管理しているところ
- ⑤ 貴重な野生動植物が生息する森林を保護しているところ

- ⑥ スギやヒノキ等の人工林の手入れをしているところ
- ⑦ 土砂災害や山腹崩壊の予防や山地災害を復旧するための治山ダムを設置しているところ
- ⑧ 水源を守り、水を蓄えるため森林を保全しているところ
- ⑨ 森林をつくる、守るための最新の技術を実証し、普及啓発しているところ
- ⑩ 森林管理局、森林管理署等が何をしているところかわからない
- ⑪ その他

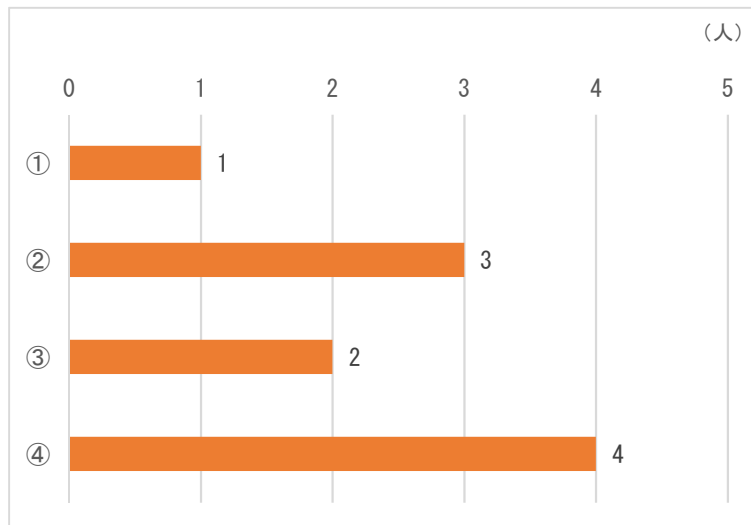


問Ⅱ-3 九州森林管理局、森林管理署等に行ったことがありますか。



問Ⅱ-4 (問Ⅱ-3で①と答えた方にお聞きします) どのような要件で行かれましたか。(複数回答可)

- ① 国有林に入るための手続き
- ② 問い合わせ
- ③ 会議等
- ④ その他



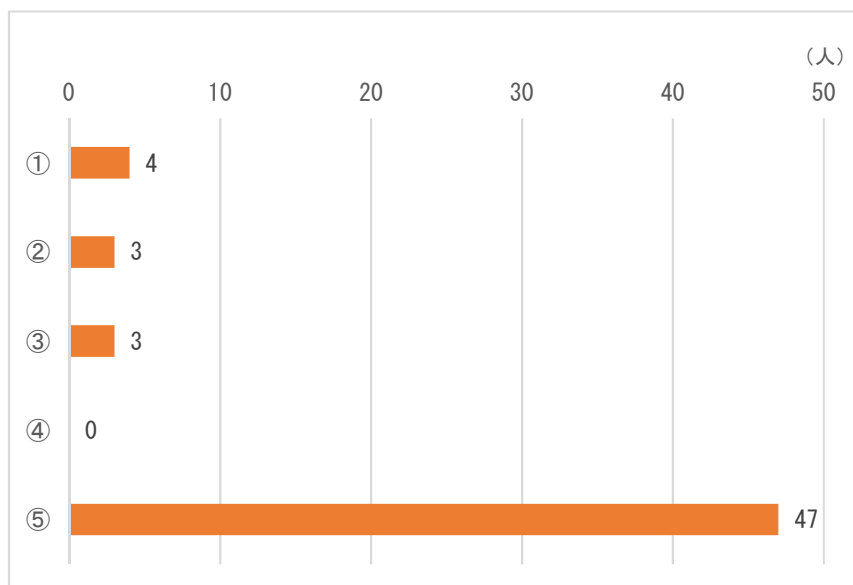
その他（主な意見）

- ・ 自然観察等のイベントに参加した。
- ・ 森林の保全に関する業務を受注した際に、担当部局との協議のために行ったことがあります。
- ・ 蜜蜂巣箱設置許可申請。

問Ⅱ-5 九州森林管理局、森林管理署等が行っているイベントに参加されたことはありますか。

また、どのようなイベントに参加されましたか。（複数回答可）

- ① 植樹、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等の森林整備に関するイベント
- ② 自然観察会等のイベント
- ③ 国有林内のゴミ拾い等の清掃活動
- ④ その他のイベント
- ⑤ 参加したことはない



問Ⅱ-6 (問Ⅱ-3で①と答えた方、または、問Ⅱ-5で①~④と答えた方にお聞きします)

九州森林管理局、森林管理署等に行かれた際、また、イベント等に参加された際に、職員の対応やイベントの企画内容等について何か感じられた事がありましたら具体的にご記入ください。

(主な意見)

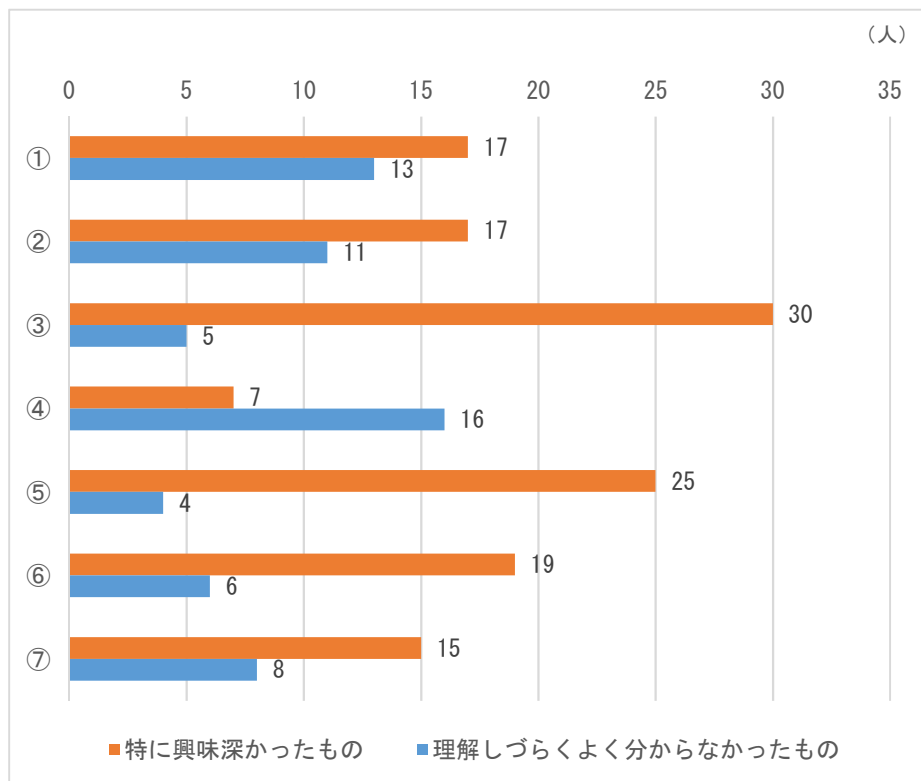
- ・ 植樹のイベントへ行きましたが、目的や植樹する木の説明が不足していたようです。又、植えた後どうなっているのか過去の植林などの例も示してほしいです。
- ・ 職員の対応は、すべて低姿勢で現場での自然観察、崖崩れ等の補修現場での説明はすごく分かりやすかった。
- ・ 何回か森林のイベントに参加して、植樹や枝打ち等の体験をさせて貰いました。もっと森林に関わるイベントがあればいいなあと思っています。
- ・ わかりやすく丁寧で親切な対応をしていただきました。

Ⅲ 令和2年度重点取組事項について

問Ⅲー1 九州森林管理局では、令和2年度に重点的に取り組んでいく内容について、令和2年度重点取組事項「～公益重視の管理経営と林業の成長産業化の実現に向けて～」(同封している資料)に整理し、ホームページで公表しています。同封している本資料をご確認いただき、各項目のうち、特に興味深かったもの、理解しづらくよく分からなかったものをそれぞれ選び、その理由をご記入ください。(最大3つまで回答可)

【「令和2年度重点取組事項」項目】

- ① 確実な再造林の実施に向けた低コスト造林技術の確立
- ② 木材の安定供給と担い手の育成
- ③ 深刻化するシカ被害への対応
- ④ 森林経営管理制度を踏まえた民有林行政の支援
- ⑤ 優れた自然環境の保全と森林景観を活かした観光資源の創出
- ⑥ 地域の安全・安心確保に向けた取組
- ⑦ ICT等の積極的な活用



(「特に興味深かったもの」として各項目を選んだ主な理由や意見)

① 確実な再造林の実施に向けた低コスト造林技術の確立

- ・ 「低コストの造林技術」という言葉を初めて知りました。今後とも新技術の開発をしてほしいものです。
- ・ 防災のためにも伐採後の再造林は重要であり、確実かつ低コストで行う方法は積極的に取り組むべきと思う。
- ・ シカ対策として、色々、考えていらっしやると思いました。新聞等でもっとPRしたらいいと思います。

② 木材の安定供給と担い手の育成

- ・ 森林経営管理制度について詳しく知りたい。とくに「意欲と能力のある林業経営者」を育てるための助成や研修について知りたい。若い力が集められるような支援を望むから。
- ・ 後継者育成の難しさを痛感します。森林の生長と同じで、若い学生や子供達へいかに仕事の魅力を伝えていくかを考えさせられました。
- ・ 安い外材の輸入における国内林業の衰退。また国内における林業従事者不足の解消が重要。
- ・ 林業は何十年ものスパンで成り立つ仕事であると思うので、担い手をどのように育成して安定した収入を確保できるか興味深いから。

③ 深刻化するシカ被害への対応

- ・ シカが森林被害をおこしているのは知らなかった。
- ・ 森林に限らず農家にとっても有害鳥獣の問題は深刻で重要です。
- ・ 森林にとって、シカがそんなに大きな影響を与えると知らなかったから。
- ・ 林業をされている方にとっては重要なことである為、猟友会と協力し、どう対応していくのか記載されていて良かったです。

④ 森林経営管理制度を踏まえた民有林行政の支援

- ・ 民有林の面積は広く、その民有林が健全に経営されることは、将来により良い環境や国土を残すことになると思ったから。
- ・ 行政の支援が必要と感じますが、どの程度の支援が有効なのか難しい面があると思います。

⑤ 優れた自然環境の保全と森林景観を活かした観光資源の創出

- ・ 自然を生かした観光開発は、自然との共存として大切な事であると感じた。
- ・ 国有林の活用方法として、これから伸びることが期待できそうな分野だから。
- ・ もっと観光資源としての活用をして欲しいから。色んな人を山に呼び込むために、まだまだ出来ることがあると感じた。
- ・ 森林浴など気分転換できる環境が必要であり、安心して山登りなど行いと思うため。

- ・ 観光資源として、森林を有効活用することによって、人びとの理解も進み、森林資源の保全にも役立つから。
- ・ 多言語看板の設置 5つの約束がいいですね。英語だけでなく、中国語、韓国語もお願いします。

⑥地域の安全・安心確保に向けた取組

- ・ ここのところ毎年のように大雨、台風などで山が崩れたりしたこともあり、事前に調べて災害を防ぐことへの取組は大切だと思う。
- ・ 大雨や地震などの自然災害を減災する取り組みは重要に感じたから。
- ・ 熊本地震や集中豪雨被害からの復興事業に対する取り組みを知り興味を持った。

⑦ICT等の積極的な活用

- ・ 現在、林業に限らず多方面で人材不足を補うという点でICT利活用が推進されているので、林業においても活用されるのは大変有効であると感じたため。
- ・ 今できる科学技術を使い省力化と最大の効率に期待したい。

(「理解しづらくよく分からなかったもの」として各項目を選んだ主な理由や意見)

①確実な再造林の実施に向けた低コスト造林技術の確立

- ・ 造林技術については専門的な内容であり、林業体験のない者には漠然としかわからなかった。
- ・ 杉花粉など社会問題もありコストだけでなく健康管理にも留意した取り組みがなされているのか判らなかった。

②木材の安定供給と担い手の育成

- ・ 民間の林業が、今の様々な支援策により、継続できる業態となるものなのか、はっきり分からなかった。
- ・ 木材の安定供給と生産性の向上が、わかりづらい。
- ・ 樹木採取権制度がよくわからない。

③深刻化するシカ被害への対応

- ・ シカの増加による森林被害への対策について、取り組み姿勢は理解できるのですが、より具体的な方針や達成目標（シカの生息数をどの程度まで抑えればよいのか、シカの有効活用（ジビエ以外）はないのか等）が見えてきません。具体的な見える化を期待します。
- ・ 深刻化するシカ被害の状況や被害金額について知りたい。

④森林経営管理制度を踏まえた民有林行政の支援

- ・ 制度が導入されることでどうなるか、少しわかりづらかったです。

- ・ 「森林・林業に関する情報提供」の説明が少なく、分かりにくい。
- ・ 民有林行政支援の取り組みを聞いたことが無い。

⑤優れた自然環境の保全と森林景観を活かした観光資源の創出

- ・ モニタリング調査等の順応的管理が今ひとつ意味が理解不能。
- ・ 隣の市町村にもレクリエーションの森があるということだが、地元の者が知らないくらいだから知名度不足が顕著であると思う。

⑥地域の安全・安心確保に向けた取組

- ・ 「山地防災力等の強化」とは何をさすのか分からない。「山地防災力等の強化」「九州北部豪雨からの復旧、復興」は説明文がないので分かりづらい。

⑦ICT等の積極的な活用

- ・ ドローンの活用がまだまだ今からだと感じた。
- ・ 実際に見たことが無いのでよくわからない。

問Ⅲ-2 令和2年度重点取組事項についてご意見、ご要望等ございましたら、ご記入ください。

(主な意見)

- ・ 近年災害が増えています。手入れがされていない森林が起因する災害も多いと聞きます。災害が起きる前の対策、起きてからの復旧を両輪として取り組まれる旨が伝わりました。
- ・ 再造林では人の健康管理にも留意した花粉症など防止できる計画が必要と思います。
- ・ 保護林やレクリエーションの森などについて地域住民にも浸透していないものが多いと思うので、観光ではない生態系保護を目的とした取組・啓発活動を高めてもらいたい。